



【編集】
富山国際大学
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

ラベンダーの花盛り

芝生広場の北端、調整池の縁にラベンダーが植えられており、今、花盛りです。以前から咲いていたのですが、草刈りによって、咲き誇っている様子が、はっきり見えるようになりました。ラベンダーは、原産地が地中海沿岸で乾燥には強く、草に埋もれないようにしておけば、何年も花をつけてくれます。寒さに弱いと言いますが、思いのほか耐えてくれます。見栄えはともかく、地面に穴あきシートを張って植えるのは大正解ですね。穂の先についた青紫の花は、何時までも芳香を振り撒きますから、乾燥させて小物に入れておくと、香りを楽しむ生活ができます。私たちだけでなく、ベニシジミやいろいろな蜂なども引きつけられ、蜜を得るために盛んに飛び回っています。



東黒牧キャンパスには、この他にもいろいろなハーブが植えられています。一号棟の入り口には、ローズマリーが育っています。肉料理に合い、小枝を入れて料理した後取り除けば香り移ります。もっとも、かつて春先まで貯蔵した肉を止む無く食べていたヨーロッパとは違い、新鮮な食材を使い慣れている富山では、あまり必要がないかもしれません。



本部棟の裏(南側)には、ハーブ畑があつていろいろなハーブが植えられています。まず目立つのは、ススキに似たレモングラスです。新鮮な葉を切り刻んでハーブティーとすることができます。紅茶と一緒に使ってもいいですね。今、黄色の花を咲かせているのは、ヤロウです。繁殖力があつて育ち過ぎて困るといわれるハーブです。花がある今の時期に切り取って乾燥させ保存することもできますが、若葉をそのままサラダや御浸しにすることもあつてそうです。そのほか、何種類かのミントも育っています。ミントティーを始めいろいろな使い方ができるハーブです。



このようなハーブが大学祭の模擬店で提供されたら楽しいと思うのですが、誰か挑戦しませんか。

